

分野： I 小児・成人ぜん息に関する調査研究
① 高齢ぜん息患者の状況に応じた自己管理手法

I-①

委託業務名：高齢者ぜん息の状況に応じた自己管理手法

調査研究代表者氏名：鈴川 真穂

1 評価項目						
5点:大変優れている(A判定) 4点:優れている(B判定) 3点:普通(C判定) 2点:やや劣っている(D判定) 1点:劣っている(E判定)						
	5点	4点	3点	2点	1点	平均点
(2) 研究成果目標の達成度	1人	3人	1人	0人	0人	4.00
(3) 研究計画の妥当性	2人	2人	1人	0人	0人	4.20
個別評価(第3評価):(2)(3)の平均						4.10
(6) 総合評価(第2評価)	2人	1人	2人	0人	0人	4.00
全体評価(第1評価):(2)(3)(6)の平均						4.07

2 記述評価
・タブレットを使いこなせない対象者に対して、これからどう介入していくのか。2カ月おきに随時というのは可能か。 ・主治医の判断だけでよいのか、耳鼻科、眼科の関与が必要ではないか。 ・AR、AC、Pについては季節性変動をどうみるか。 ・着実に進められる研究計画であると考えているが、得られるであろう研究成果が結果として少し新規性に乏しいのではないかと懸念される。 ・「高齢者ぜん息質問票」と「医療提供のためのフロー」はわかりやすい。 ・環境保健の本プロジェクトに則している。 ・高齢ぜん息患者は、そもそも吸入手技が困難なケースが多いなど、特有の課題がある。本課題は、認知機能を含めた生活機能の評価を行うものであり、成果が期待される。 ・介入研究の症例登録、並びに介入研究に用いるアプリ開発も順調に進んでいる。また、介入研究のプロトコルも適切に作成されており、成果が期待できる。